

星出彰彦(ほしで あきひこ)宇宙飛行士搭乗の  
米国クルードラゴン宇宙船運用2号機の帰還について

[内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話]

本日、星出彰彦宇宙飛行士が、国際宇宙ステーション(ISS)における約半年の長期滞在を無事に終え、クルードラゴン宇宙船運用2号機にて帰還しました。

星出宇宙飛行士は約5か月の間、ISSの船長として、宇宙という極限状態の中、常にISS全体の状況を把握し、地上の管制局と連携してISSの安全な運用にあたるとともに、他のクルーの様子にも気を配り、円滑なコミュニケーションを図るなど、チーム全体をまとめる大任を無事に務められました。

今後、ISSのような地球を周回する軌道に加えて、月・火星に向けた宇宙開発も進められていきます。そうした中で、星出宇宙飛行士を始めとした、日本人宇宙飛行士の宇宙活動の経験は我が国の大きな財産です。内閣府特命担当大臣(宇宙政策)として、これまでの宇宙活動の知見を活かしながら、宇宙開発利用をしっかりと推進してまいりたいと思います。

令和3年11月9日

内閣府特命担当大臣(宇宙政策)

小林 鷹之